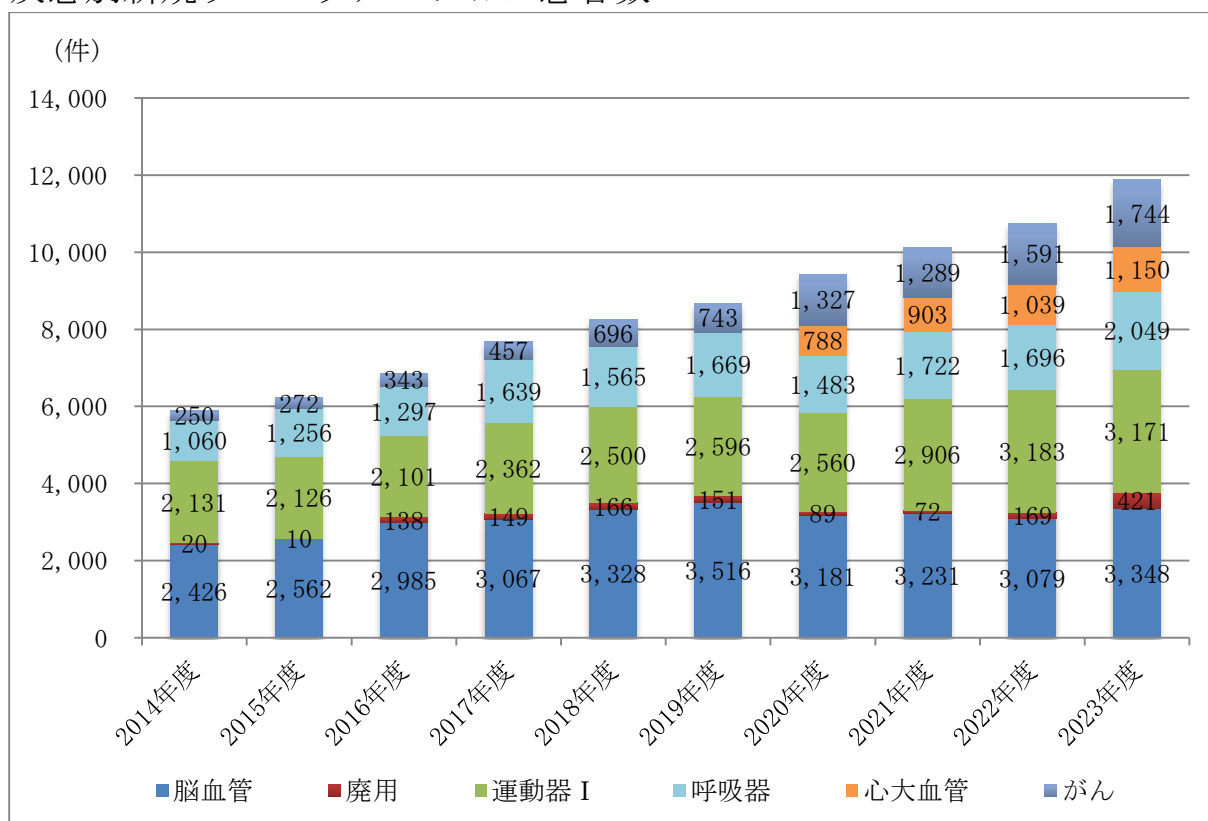


疾患別新規リハビリテーション患者数



リハビリテーションの重要性が認識され、診療報酬上でもより多くの算定が可能となっている。当院においてもリハビリテーション実施件数が増加傾向にあり、その中で新規開始患者数も増加している。

「がん」リハビリテーションは、がんの罹患数増加と生存率上昇に伴い、今後ますます増加していくと思われる分野であり、療法士数の増加、設備面での拡張が継続的に必要と考える。また2020年度より「心大血管 I」の算定が可能となった。これにより、心筋梗塞、心不全など循環器疾患に対するリハビリテーションの充実を図りたい。

データ提供 リハビリテーション部